



いちき串木野市立 生福小学校

児童数 52 人
学級数 7 クラス



《テーマ》

人権を尊重し、差別をしない、差別を許さない実践力をもった児童の育成

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校児童は、現在 52 人で年々減少傾向にあり、今年度は 3・4 年生で初めての複式学級となった。児童数が少ないが、遊びや様々な活動の中での縦割り活動を通して、お互いのことを分かり合える集団である。その反面、学級では固定化された交友関係の中、友達間での言動がトラブルの原因になることもある。また、各調査の質問紙等の結果から、自己肯定感、自尊心を高める必要性があることも分かった。

そこで、人権教育を全ての教育の基本と捉え、自分も他者も大切にできる児童を育成するため本テーマを設定した。

研究の実際

- 6月26日(月) 職員研修
- 9月13日(木) 心の教育の日
(道徳授業参観, スマホ・ケータイ安全教室)
- 10月16日(月) 職員研修
- 11月上旬 人権標語の作成
(PTA生活指導部との連携)
- 12月4日(月)～12月9日(土)
校内人権週間の実施
- 12月6日(水) 人権集会

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 心の教育の日の取組

- 9月の授業参観において、全学級、道徳の授業参観を実施
- 6年教室では、児童・保護者向けにスマホ・ケータイ安全教室の実施（リモート）

□ 人権標語の作成

- PTA生活指導部から全家庭に標語の作成を依頼
- 県民週間に合わせて、全ての作品を掲示

□ 校内人権週間の実施(12月)

- 人権集会の実施(1～4年, 5・6年生に分かれて実施)
- 人権の木の実施(友達のすてきなところを発見)

□ 職員研修・相談体制の充実

- 校時表の改善による研修・教育相談時間の確保
- 年間3回の人権教育に関する研修内容の工夫・充実



【人権標語】



【人権集会】



【人権の木】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの聲, よかったこと, 今後やってみたいこと）

- 人権に関する研修を通して専門的な知識を習得することができ、全職員の人権教育に関する意識が向上してきた。
- 人権集会や校内人権週間での取組を通して、自他のよさを認め合うことの大切さに気づき、友達への共感的な態度が見られるようになってきた。
- 引き続き、人権教育の取組を充実させ、実践力のある児童の育成に努めていきたい。